







志乃  
 甲子集  
 通長行  
 甚切  
 菊花  
 自





世に名村

口

和名集并異名製洲記卷上

い

威靈仙

一名能消うつがらこの

秘あり。冬月ひのえひのとれん  
さうそびりよと。海月ありひよ  
さるに。海月。柳葉。又。仙。くさ  
秘。とう。ま。わ。さ。ひ。お。さ。と。に。六。七。葉  
く。海。の。と。れ。ん。と。く。さ。ま。ひ。り。  
七。さ。秘。よ。つ。ら。の。七。月。の。ら  
よ。ん。か。と。あ。や。う。げ。ん。と。ま。ひ。さ  
た。わ。ひ。お。と。く。あ。ら。ら。あ。と。  
わ。と。あ。と。ま。わ。と。く。あ。と。ま。ひ。さ  
し。ひ。あ。お。り。あ。お。と。ま。ひ。さ  
あ。ら。ら。あ。と。あ。ら。ら。あ。と。あ。ら。ら  
さ。け。お。と。あ。ら。ら。あ。と。あ。ら。ら。あ。と  
ち。あ。と。あ。ら。ら



郁李仁 一名ハ爵李。一名ハ車下李。  
一名ハ楝。五月六月ハ根ととり。まは  
根中ハめんとするもちも。らにこ  
うかひく。凡そりこまの湯お  
ひしうのうささうらとひづらこ  
アそくちひし生家よひさ  
事ハ軟く。わさうびりみく  
くづだく膏のどくくもらあ  
た目あめひのなうひらみ又  
あさゆくののひいもそあ  
りてうらさだてふのこを紙  
よけもけらわくうらわあ  
とりのちも事しり  
茵陳蒿 五月とび立。俗よらこ  
ありしむはうらあひらふと  
ひのこをまわらわうわく  
くらあひだよとあ。但くらあ

うささのりさたやあくうらあ  
だ。だ。わ。但くらあひらふと  
らう。さ。ま。い。の。高。藻。の。い  
てあめひの事。三。人。さ  
あ。う。う。う。香のわらひの  
ま。う。う。香のうらうを  
ふ。あ。う。う。あ。と。の。一。八。角  
あ。あ。う。う。う。が。あ。あ。を  
さ。う。う。あ。あ。の。ち。あ。あ  
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ  
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ

蝟皮 ちのいのみがなはあはのら

うささのりさたやあくうらあ

魚の都はあり

葦毛馬葱 あげのあひのあひ

あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ  
あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ



露蜂房 へんちんらのすめりまら  
くべのどくありとてうらなは蜂  
勝 一名は百穿 一名は蜂窠 七月七日  
よどりびりめく。さげとひけ  
ひつ。あがりそりり也

蘆薈 一名は訓會 一名は奴會の  
らひめく。ふゆは倍呼て象膽

代茶 一名は波茶 ともゆめはは秘奉  
鹿茸 一名は鹿茸 ともゆめはは

鹿陰 ともゆめはは腎ありせい  
みぎにとも

漏蘆 一名は野蘭 ともゆめはは

月を根ととりてびりめは生取草  
のせんどちんは己のえり申のえ  
まてひさ守はんげのちんとて  
てまらりめ那代茶は味麻と  
りら也

鷲鷓草 一名は耳草の事 上はは

は

巴戟天 二月は根ととりてびり  
よすららけんとありはがり男也

馬牙消 石薬なりともありつふ  
日本せうがひげの孫らり

麥門冬 一名は禹蔽 一名は禹餘 二三月は根と  
とりてびりめく。さげとひけ

鉄気とてい心

馬鞭草 ともゆめはは







三年にうつりぬるの根又さきさき  
やうかげきば半夏の性失ひつゝふ  
とれ終つてつりてのちゆらいつうが徳  
あはせむとせむをゆかりあり

防己 一名解離。日本あつた根  
つらつらの根あり。八月に根を  
げりあはせむと本防己と云ふ  
ちるひひつてとあつたあつた

茅根 一名蘭根。一名茄根。名  
地管。一名地筋。一名氣柱。日かん  
あせいらるの根あり。六月に根を  
ゆらつて一夜ひつてげとゆらつたあつた

馬蘭花 ひろつたふゆの花ひつてふ  
貝母 一名空草。一名紫実。名  
苦花。一名苦菜。一名勒母。十月に根を  
とつてゆらつてとゆらつたあつた

梅花 とうとう梅の花と用。日かん  
巴豆 一名巴椒と云ふとつたあつた  
まきりまきりまきりまきりまきり  
まの他まのひまのひまのひまのひま  
敷るる所と云ふす。みまのひまのひま  
あつたあつたあつたあつたあつた

敗亀甲 川あつたあつたあつたあつた  
甲と云ふ  
敗鼓皮 やあまつたあつたあつたあつた  
芒硝 そのまはつたあつたあつたあつた  
よとつたあつたあつたあつたあつた

薄荷 ちるれまはつたあつたあつたあつた  
とつたあつたあつたあつたあつたあつた

羅蘇と云ふ



龍腦リウノウ くらつらんとし 龍一虫といひ  
交刺カウシ ちじぎとあはひし。さ  
りそはは目まをびんをわたりたり  
てのふたぐもとよりそよりと月  
防風ボウフウ 一名銅芸 一名苗草 一名  
百枝 一名屏凡 一名商根 一名  
どり。二月十日に種とりてはし  
子。一らのひまのひまのひま  
ゆくとふ用ろすしつらひひひ  
ひまらとあつ

晚蓋我ワンサイガ ふの夜子のひまのひま  
まりとふらひのひまのひまのひま

馬兜鈴バトウゼツ 日本あつらひの根とほ  
ふらふは二枚ひしつらひとあつ唐  
あひのひまのひまのひま

白梅ハクバイ くらひのひまのひまのひま  
ふらふはひまのひまのひまのひま

白扁豆ハクヘンジュ 日本あつらひのひまのひま  
つらひのひまのひまのひまのひま

班猫ハンネコ 八月はりそひりやんは  
ふらひのひまのひまのひまのひま  
まらひのひまのひまのひまのひま  
つらひのひまのひまのひまのひま  
ひまのひまのひまのひまのひま

人參ニンジン 一名人御 一名鬼蓋 一名  
神草 一名人微 一名大精 一名血參  
のまらひのひまのひまのひまのひま  
八月上旬に根とふらひのひまのひま  
さりゆらひのひまのひまのひまのひま  
ひまのひまのひまのひまのひま

に



人參じんじん 日本に於ては、天竺てんしゆくより輸入す。鹿しかの皮かわは、  
肉にくを食たべし。五月ごごは、  
蘆あし巴ぱと云いふ。蘆あし巴ぱと云いふ。蘆あし巴ぱと云いふ。

肉豆蔻にくだうこう 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

乳香にゅうかう 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

忍冬にんとう 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

人參じんじん 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

肉桂にっけい 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

は

蓬莪ほうが 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

牡丹皮ぼたんひ 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

蒲黄ぼわう 日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。

日本にほんに於ては、天竺てんしゆくより輸入す。







のうらにどうし粉とす

**去朱** 常の朱とらちのうらに  
あつちの事なりとらちのうらに  
丹云の事なりとらち

**獨活** 一名羌活 一名護羌使

春一名胡王使者一名獨活車 日本  
一の根ありとらちのうらに  
とらちのうらにとらちのうらに  
とらちのうらにとらちのうらに  
八月はとらちのうらに  
あつちの事なりとらち

**杜仲** 一名思仲 一名木綿 日本

まの事なりとらちのうらに  
とらちのうらにとらちのうらに  
とらちのうらにとらちのうらに  
とらちのうらにとらちのうらに  
あつちの事なりとらち

**兔頭骨** とう頭の骨とらちのうらに

土月よとらちのうらに

**兔腦髓** とうのうらに

**土研** 土はつりいあつちのうらに

とらちのうらにとらちのうらに  
とらちのうらにとらちのうらに  
とらちのうらにとらちのうらに

**桐油** とうの油とらちのうらに

**杜若** 川若の事なり

**銅青** 銅液青とらちのうらに

あつちの事なりとらちのうらに

**豚卵** 一名豚卵 一のうらに

④

**丁香皮** 二月はとらちのうらに

見止







て杜仲のやうなり

猪苓 一名猪屎 二月に生る

ひびく。また、あつちとつちの葉のまに  
ひびく。あつちとつちの葉のまに

地龍 蚯蚓の事也 日本あつち

みづのふ。六月に道路のつちをうご  
て。腹をうごて申のまをうごて

さびぬ。あつちとつち。あつちとつち  
あつちとつち。あつちとつち

作茹 生貯る 六月の節に生る

の事なり。六月の節に生る。六月の節に  
生る。六月の節に生る。六月の節に

作葉 生貯る 六月の節に生る

あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち  
あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち

竹瀝 生貯る 六月の節に生る

あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち  
あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち

陳壁土 生貯る 六月の節に生る

あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち  
あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち

竹筴 生貯る 六月の節に生る

あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち  
あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち

地黄 一名地龍 二月に生る

日本あつち。二月に生る。二月に生る  
二月に生る。二月に生る。二月に生る

地黄 一名地龍 二月に生る

あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち  
あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち

地黄 一名地龍 二月に生る

あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち  
あつちとつち。あつちとつち。あつちとつち

地黄 一名地龍 二月に生る







ついでにその粉のまじりてはく。また  
ゆありてのまじりてはく。また  
のらあがりてはく。

**龍眼** 唐よりきつふの實あり

中にくがきのめくのやがりのすま  
あり一伝ありてのなり日本あつり  
林のまじりてのやがりの別あり  
た。世代茶ははく。

**菘豆** のまじりてのやがりの實あり

**梁米** まじりの事なりまじりてはく

一の三のめわり

**劉寄奴草** はくろくまの事ありてはく

**葎草** 日本まじりてはく

まじりてはく

**掠子木** はくの本まじりてはく

(を)

**遠志** 一名ハ棘菫。一名ハ蔓繞。二

名ハ細草。日本あつり。草とては

なり三月小根なりてはく。また

ちきとわひ日なり。芦頭とてはく

うらまは。はく。あがりてはく。

**雄黄** 研きひきてはく

くまじりてはく。草とてはく。

**魁子粟** 一名ハ象谷。名ハ米囊。二

名。御米。日本にふま。の事なり

**罌粟殼** ちのらの事なりはく

まじりてはく。裏のまじりてはく。

(わ)

**玉不留行** 日本あつり。和名はく。

すまじりてはく。草とてはく。倍はく。

まじりてはく。二月にふま。はく。

あがり











和名南庭木なり。日本少あり。和名  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。三月  
根と搗くししるし。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。

香附子 海草根と云。一名蔞一名  
蘘蕪。一名雀頭香。日本あり。和名  
みどり。又やけり。三月。六月。八月。  
雷公のいしとさす。さしやうらうらひのさしやうらうらひ。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。

何首烏 一名野苗。一名陳知白。和名  
地製論。いし。春。夏。秋。冬。竹。刀。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。

香薷 和名海の草あり  
合歡 和名合歡樹。一名忘憂。一名は  
夜合。和名海の木の皮なり。さしやうらうらひのさしやうらうらひ。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。

夏枯草 和名あんなさす。さしやうらうらひのさしやうらうらひ。  
海桐皮 和名あんなさす。さしやうらうらひのさしやうらうらひ。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。  
さしやうらうらひのさしやうらうらひ。製法はさす。











毫車

古筆と云りつゝあまきつゝふ

海洋

多岐の事 油 漆 漆 漆 漆

我木

蓬 莪 木 云々 木 云々 木 云々

よ

薏苡仁

一名ハ解益 一名ハ屋葵 一名

起實

一名ハ藟 和名云々 和名云々

實の多

くすの付 ざりて云々 ざりて云々

ざりあ

がりて月の根 云々 根 云々

頭と

あり云々 云々 云々 云々

預知子

云々 瓜の實 あり 中 云々

砂の

やわらう 雲 あり 云々 云々

た

丹参

一名ハ却蟬草 一名ハ赤参 一名

和名

あふらう 日本 云々 云々

丹砂

一名ハ真朱 日本 云々 云々

あり

云々 云々 云々 云々

大薊

小けい 云々 一種 あり 大けい

山

合 雲 雲 雲 雲 雲 雲

子

音 根 云々 云々 云々 云々

あり

云々 云々 云々 云々 云々

り

云々 田 野 半 澤 云々 云々

大戟

一名ハ切 鉅 澤 漆 の 根 云々

あり

云々 云々 云々 云々 云々

澤漆

一名ハ澤 莖 大 戟 乃 苗 云々

七月

云々 云々 云々 云々 云々

本

云々 云々 云々 云々 云々

後

云々 云々 云々 云々 云々

あり

云々 云々 云々 云々 云々

あり

云々 云々 云々 云々 云々



當歸 一名乾歸 一名山藪 日本  
ていひらの國乃當歸とてこれ其のまの  
當歸にあつて和名ありせりやませりやぬ  
せりやうて二月に根を採るべし  
あはれまはひくしと名をいひし芦頭と  
まてふばははりあがふまはひく  
あがりのちやまあり

桃花石 ちりりの事あり  
澤瀉 一名水瀉 一名及厚 一名芒  
草 一名苦澤 和名とすたの事あり  
其月に根をとりてげりあつらけを  
あひ毛を削りて目にかへばこあつ  
目のみまはひくしは事あり

桃仁 しのこは津の実あり七月  
よらあがりてゆひくはまあり  
とつてあつらひくしは事あり  
鐘墨 あつたの事あり

桃花 しのこは津の実あり七月  
桃兒 一名桃奴 一名臭景 桃の  
くせりてはまはりては月あり  
桃膠 しのこは津の実あり七月  
澤蘭 一名片蘭 一名龍葵 一名  
虎蒲 和名ありありありありあり  
大棗 一名乾棗 一名義棗 一名  
良棗 和名ありありありありあり  
てはりありありありありあり

大黃 一名將軍 一名黃良 果あり  
あり三月に根を採るべし  
と唐よりありありありありあり  
とらちのふははりては事あり  
大隈玄精 三月に根を採るべし  
代精石 一名血師 ありありありあり

大隈玄精 三月に根を採るべし  
代精石 一名血師 ありありありあり



わく 雞冠のてら 函水くわりのちねんよ  
疑結くわりのてら 日本めい  
府にありて 煎法は 煎にてんてん  
水ぬくまはくわりのてら 日本めい

玳瑁

やまのわくわく 日本めい

大角豆

まげの事あり

大腹子

日本めい 椀楯 ころに卵の

たまはくわくと大腹子のひらひら 日本めい  
とびんら ころに卵の

圖經より大腹とびんら ころに卵の  
但し 煎法は 煎にてんてん

陽にひらひらとびんら ころに卵の  
大腹子 ころに卵の

大腹皮 日本めい 大腹子のてら

あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら

あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら

あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら

そのうち ころに卵の  
あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら  
そのうち ころに卵の

猪肉

和名まみ ころに卵の

あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら

大豆黄卷 ころに卵の

あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら

糯米

りらの米のてら

れ

蓮葉

蓮華心 ころに卵の

あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら

蓮肉

ころに卵の

あつらひらひら 日本めい 大腹子のてら











菘若子 一名横唐 一名行唐 五月  
一実とてさうなり 和名ありふたふた  
とありさうなり 一説は今日本より来た  
この実ありさうなり

蘭草 一名水香 和名ありふたふた  
油漬らうなり 今の本より来たさうなり 和  
名澤蘭ありさうなり 五月より

絡石 一名石鏡 石鏡 略石 明  
石 鎮石 懸石 石より来たさうなり 生るる  
けりさうなり 正月の月より来たさうなり

用ひしものありさうなり 毛とのひらりて  
草湯より来たさうなり 日本より来た  
①

樹金 名ありさうなり 今より来た  
生るる方より来たさうなり ありさうなり  
姜黄の條下に記我木姜黄樹金の三

本草とてさうなり 今より来た  
まの一本ありさうなり 説ありさうなり

茴香子 和名ありさうなり 三月より  
生る 五月の月より来たさうなり 三月  
より来たさうなり 九月より来たさうなり

と大茴香 日本あり 唐より来たさうなり  
今本の実に似たりさうなり 大さうなり

烏藥 一名房花子 今より来たさうなり  
海池の中ありさうなり 池澤の中

禹餘糧 海池の中ありさうなり 池澤の中  
のありさうなり 生ると日本ありさうなり

烏梅 今より来たさうなり 今より来た  
今より来たさうなり 今より来た

雲母 一名雲珠 雲華 雲英 雲  
液 雲砂 磷石 和名ありさうなり 日本より  
来たさうなり 今より来たさうなり

二月より来た白ありさうなり 今より来た  
今より来たさうなり 今より来た

今より来たさうなり 今より来た  
今より来たさうなり 今より来た



めとそを以製法をり今う  
 下はるはくさしてうほとりのうつて  
**烏頭** 一附子の條下、漸次烏喙天  
 雄側子みかとのめ、らまりまり  
**烏雄雞肉** うろたあまよりれんまこ  
**烏賊魚骨** いの甲おりうらのやうう  
 うろちとまひくまはのせてうす  
 と捨てはにめいほくまやしてうす  
**雲實** 一名八負石・雲英・天豆和  
 名くゆまげ十月おろくさうま  
**烏蛇** むひくまとまらくまは  
 ひうわづりて丸教よむきおら  
**烏蛇退** うびのまぬかりせむう  
 みまんとま

の

腦脂 ころのれまかり

く

**鶴虱** 和名のろり草の食かり  
 そろざりてう  
**黄草** うりやまの事かり  
**サ均將首** 和名まうびとまひ雷公  
 うさふんろりてうろくまのあま  
 おろそ生薬の汁やうまをてびと  
 事一日そはれらうりりり  
**氏樓根** 枯蔓根やま書一名地蔓  
**果蕪** 天竺・澤姑。和名うすりの  
 根ありちまの事。うすりの根は六月  
 まりてさうすせらうるま  
 ちるまに皮ひてう頭てま  
 まりてまはれりあづる鐵氣と  
 ついてまの仲盛と瘡暑とあづ  
**丸樓實** 枯葉にまのり



るの實なり五月に生ずるに實はこ  
ろの實なり五月に生ずるに實はこ  
ろの實なり五月に生ずるに實はこ  
ろの實なり五月に生ずるに實はこ

**瞿麥** 一名巨句麥。大薊。大蘭。  
和名うりあぐりの實なり。葉殼と用  
く。葉はとけりしむすすのくはる  
實けくのものなり。

**苦參** 一名水槐。苦蕒。地槐。  
菟槐。驕槐。白莖。鹿麻。岑莖。  
楝白。陵即。和名くら。まのりさ。

三月と八月は根ととりさつしそくは  
去氣とひひりり米とるに一匙ひ  
とるなり。あづ。鐵といひ。

**款冬花** 一名案吾。顆凍。鹿鬚。  
羌葵。氏。和名うたのこ。まのりら  
く。あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。

性うすま。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。

**貫衆** 一名貫節。貫衆。百頭。  
鹿卷。扁府。伯洋。藥藻。和名  
あつり。あつり。あつり。あつり。

二月は根ととりさつしそくは  
あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。

あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。  
あつり。あつり。あつり。あつり。

**軍姜** 一名古根あり







のころりありて樹はじむらぬれい  
まきの柄抱ありその葉のころり丸  
ちくばの棘あるのこと拘棘ごらう  
こま根の皮と名をころり地骨皮と  
し製法はまきとるすみのこ根皮を  
ころり製したる製ありころり製ありあき  
ころりけりあり

**薰陸香** あり汝ありゆりつら  
まきとるそのまきはまきとるい

**藿香** まきとるいひこわしと  
の葉のゆり入るまきとるい

まきとるまきとるまきとるのりみ  
ありひはありまきとるまきとるい

**花葉石** まきとるい  
**物産** 唐よりまきとる毛と解

まきとるまきとるまきとるまきとる  
て目ゆりまきとるまきとるまきとる

まきとるまきとる日本ありまきとる  
びの絲ありまきとる又二院ありまきとるの根  
ありまきとるまきとるまきとるまきとる

**苦棟根皮** 和名ありりの木根のまきとる  
まきとるまきとるまきとるまきとる

まきとるまきとるまきとるまきとる  
まきとるまきとるまきとるまきとる

**苦楝子** 又金鈴子まきとるまきとるまきとる  
まきとるまきとるまきとるまきとる

まきとるまきとるまきとるまきとる  
まきとるまきとるまきとるまきとる

**萱草** 一名鹿葱。和名まきとるまきとる  
**瓦粉** まきとるまきとるまきとるまきとる

まきとるまきとるまきとるまきとる  
まきとるまきとるまきとるまきとる

**蝸牛** 和名まきとるまきとるまきとる  
**滑海藻** 和名ありまきとるまきとる

**滑石** 一名の滑石。石の共石。和名  
**番石** 和名まきとる日本ありまきとる









新刊  
御  
成  
書  
目  
録



